

「21世紀出生児縦断調査」と「20～30歳代男女縦断調査(仮称)」の役割分担について

調査の目的

2001年生まれの子ども
の成長・発達の過程を
継続観察することにより、
子どもが心身ともに健やか
に育つことができる家庭や
地域づくりのための基礎資
料を得る。

調査の対象

全国の2001年に出生した
子を対象とし、1月10日～
17日及び7月10日～17日
の間に生まれた子を客体と
している。

主に調査する内容

子どもの将来の成長・発
達及び行動等に影響を及ぼ
すと考えられる事項。

縦断調査の機能

各時点の実態を把握していき、
因果関係をみる。

21世紀出生児縦断調査

20～30歳代男女縦断調査(仮称)

結婚、出産及び就業等の
ライフスタイルの変化の過
程を継続観察することによ
り、当面、仕事と子育ての
両立支援等の少子化対策の
ための基礎資料を得る。

2002年に20～34歳(調
査日現在)である男女及び
その配偶者を客体とする。

結婚、出産及び就業の状
況とそれに影響を及ぼすと
考えられる事項。